

「国際ケア・サポート・デー」2023年10月29日

ケアの新時代を祝う 労働組合が団結し、ケア労働者のための公正でより公平な労働世界を実現

2023年10月29日、アジア太平洋全域の組合が連帯し、国連総会によってこの日が「国際ケア・サポート・デー」として正式に承認されるという記念すべき節目を祝います。

2023年7月に採択されたこの歴史的な決定は、ケア労働者のかけがえのない貢献と、経済成長と社会発展の両方にとってケア分野への投資が極めて重要であることを認識するための継続的な取り組みにおける大きな成果です。

労働組合コミュニティは、ケアの真のヒーローであるケア労働者、女性組合員、そして他者の幸福とケアに人生を捧げる人々を称えることの重要性を情熱的に唱えた世界の労働組合運動によって推進され、4年前に始まったこの旅の節目に立ち会えることに感激しています。

彼らの活動主義、強靱さ、そして共有されたストーリーと経験に触発され、私たちは、ケア労働が私たちの生活と経済を支える極めて重要な役割を果たすという、当然の評価を確保するために、絶え間ない努力を続けてきました。このビジョンの一部が実現したことは、私たちにとって大きな誇りです。

この記念すべき機会は、集団行動とアドボカシーの力を証明するものです。こうした取り組みが最初に成功を収めたことは、持続的な社会的対話と協力が、強靱で包摂的なケア経済を構築する上でもたらす影響を強調するものです。

この特別な節目を祝い、「国際ケア・サポート・デー」という新たな章に踏み出すにあたり、私たちはまだやるべきことがたくさんあることを理解した上で、それを実行に移します。この新たな国連の「国際ケア・サポート・デー」は、各国政府に対し、以下の原則に裏打ちされた具体的な行動をとるよう促すことで、この勢いを維持する絶好の機会となります：

- ・ ケア分野への公共投資を増やし、ケア経済を国のGDPに組み込むことで、数百万人の新規雇用を創出し、女性の経済参加を促進し、質の高い公的医療、教育、ケアサービスへの普遍的なアクセスを保証します。

- ・ 包摂的な労働市場政策、家族に優しい職場政策、ジェンダーに対応した社会保護策を包含する包括的なケア政策を採用することは、ケア責任のより公平な分配に貢献し、ジェンダーに中立的な柔軟な勤務体制を促進します。
- ・ すべてのケア労働者にディーセント・ワークを確保するためには、ディーセント・ワークの基準を遵守するためにケアの役割を公式化すること、安全で健康的な労働条件、公正な報酬、同一労働同一賃金を提供すること、ジェンダーにもとづく暴力、ハラスメント、差別からの自由を確保すること、ケア労働者の団結権および団体交渉権を保護することが必要です。

これらの原則と要求を実現するには、さらに持続的で集団的な努力が必要です。

国際労働組合総連合アジア太平洋地域組織（ITUC-AP）は、これらの要求が最前線で政府、使用者、その他の関連機関の決定や行動を形成し続けるよう、加盟組合を全面的に支援します。私たちは、有給・無給を問わずケア経済とケア労働が再び過小評価されたり見過ごされたりすることがないように、私たちの味方になってくれる人たちやパートナーとの緊密な協力を続けていきます。

道のりは長いかもしれませんが、私たちは共に、女性、ケア労働者、私たちがケアする人々、そして社会全体にとって、公正でより公平な未来への道を切り拓いていきます。